

製造・ソフト

アート作品の共同受注グループ

高崎青経5社と連携し発足

板金加工の山崎製作所

精密板金加工を手掛ける山崎製作所（高崎市吉井町小暮105-1、山崎豊社長 027-388-3131）は、高崎青年経営者協議会（事務局・高崎市役所商工観光部工業課内）の会員企業5社と連携して、アート作品に特化した共同受注グループを発足する。同社は昨年より県立女子大（佐波郡玉村町上之手1395-1）の高橋綾准教授（文学部美術学美術史学科）、下山肇非常勤講師（実践女子大准教授）らと連携して、造形アート作品の製作業務を請け負っているが、若手アーティストを中心に依頼が増加傾向にあり、地域の力を結集し、組織として仕事を取り込んでいくことにした。今月下旬にもグループの名称、ロゴマークを正式決定し本格活動をスタート。将来的には市内に作品を展示するアトリエの開設も計画しており、積極的にPRしていく方針だ。

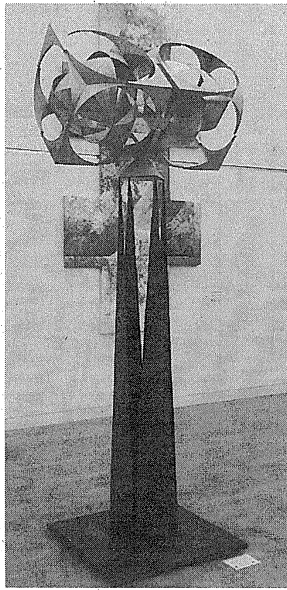
若手アーティストらをバックアップ

龍澤興業（高崎市八幡町、武井木工（高崎市飯塚町）、松本板金（富岡市桑原、町田ギヤ）の5社、建設や木工、切削加工などそれぞれが得意分野を持っており、案件に応じて仕事を振り分



山崎常務

山崎製作所の呼び掛けに応じたのはエムケイ製作所（高崎市小八木町）、



山崎製作所が製作した県立女子大の下山肇非常勤講師の作品

の製作をスタート。同展には高橋准教授、下山講師らの複数の作品を製作したほか、以降も下山講師の「新作協会の第75回記念展」の出品作品や下山講師協力の「竜ヶ崎幼稚園（茨城県竜ヶ崎市）が今年3月に実施したアートワークショップの作品を製作するなど、かかわりを深めてきた。

一方、活動を進める中で浮かび上がってきたのが、作品の製作委託先に頭を悩ませている若手の造形アーティストが多いということ。大掛かりな作品ともなると、それな



茨城県の竜ヶ崎幼稚園で行われたアートワークショップの様子

りの機械設備なども必要となるが、そうした業者と太いパイプを持っている一部の著名アーティストだけで、多くは「感性を形にする」ことに頭を悩ませているのが現状だ。こうした背景から、同社の製作した作品が展示作品などでは、出展後の活動内容は制作を受注し、製作するのはもちろんだが、ユニークなのは有効活用策も計画していること、展示会向けの作品などでは、出展後の処分

に困るケースも多いが、同グループではこうした作品を引き取ることにも、常設展示するアトリエの開設も計画しており、注目を集めよう。山崎将臣常務の話。若手芸術家は当然、金銭的に余裕があるわけではなく、限られた予算の中で、無理な願いを聞かなければならぬケースも出てくると思うが、そうした挑戦が技術のブレイクスルーにつながり、自分たちも成長できると思う。まずは、実績を一つでも多く作ってほしい。

2012年4月12日(木曜日)発行9面